

農業体験

平成 29 年 7 月 20 日

園長先生から、収穫の仕方などについてのお話です



晴見保育園の一つの風物詩になりましたが、年長クラスになっての初めての集団作業です。じゃが芋の種芋を植付、自分たちで収穫し、それを自分達で料理し、お泊り保育の時にカレーを作って食べます。子どもたちの植えつけたお母さんイモは沢山の子どもを宿しているでしょうか・・・楽しみ！！

お休みした仲間のために、I君が、植えてあげたいと言って。植えたじゃが芋も大きくなりました。



僕が植えてあげたんだよ



たくさん取れたね～大きいのをお家にもって帰ってね！



「ねえ、見て見て・・・幼虫だよ～」
「本当だ！ カブト虫かな・・・」
じゃが芋談義より、虫さん談義(笑)



今年も無事にジャガイモの収穫ができました。子どもたちが植えた親イモは、沢山のお芋を付けていました。野菜を育てるという作業は、命を大切にすることにも繋がります。今年は、お友達が腕の骨折で入院し、植付をできませんでした。I君が「OO君の分も植えたい・・・」と言ってきました。小さな優しい心に触れることができました。人への優しい思いやりの大切さについてクラス全員にお話をしました。さあ、今年も、お家でお母さんにお料理してもらってくださいね。お母さん何を作ってくれるかな・・・???